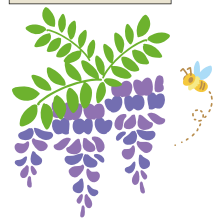


紫藤通信

発行所
山村国際高等学校
坂戸市千代田 1-2-23
☎ 049-281-0221

印刷所
有限会社 須賀印刷

<http://www.yamamura-kokusai.ed.jp>



より良い社会づくりに
貢献できる人材
校長 中山達朗

生徒の皆さん、様々な教育活動を通して学び得た知識・技術・技能は財産です。今後とも一層磨きをかけ続けてください。

それと同時に学び得た知識・技術・技能を世の為、人の為に役立てるという心を養わなければなりません。人の為に役立てるという心が醸成されることにより、その人が持っている知識・技術・技能は正しく活用され、社会の発展に役立てることができません。しかし、その心が足りないと、その能力を上手に活用することができず、社会にとって不利益や損失となりかねない事案が生じます。

例えば、溶接という技術を皆さんも知っていると思います。日本の伝統工芸を支える溶接は、金属を溶かす技術です。その技術を基に、造船や鉄道などはじめ様々な形で社会に役立つものが創られます。逆に、その溶接の技術を悪用し、他人の金庫や窓枠の鍵を壊し、金品等を盗むなどは犯罪であり、社会にとって許すことのできない行為です。

こうしたことを踏まえて、知識・技術・技能の習得を追い求めることは勿論ですが、最も大切な事は、人として正しい判断力を養うことです。何が必要で何が不要なのかを分別・精査する力、さらに、自らが持つ知識・技術・技能を社会へ還元するための慈愛の心を持つことも重要なことです。

これからは、皆さんが社会を担っていく時です。そのためには、山国で学び得た知識・技術・技能を正しく活かし、より良い社会づくりに貢献できる人材となることです。そして、大いに活躍してください。



紫藤祭

えっほえっほ
山国は最高だって
伝えなきゃ！



第73回

九月十三・十四日に本校文化祭である紫藤祭が実施されました。今年のテーマは「えっほえっほ山国は最高だって伝えなきゃ！」でした。事前準備からたくさんの生徒が協力し、素晴らしい文化祭をつくりあげてくれました。書道部や吹奏楽部、よさこい部、バントワリング部、ダンス部、コーラス部、英語部などお馴染みの部活動がステージ発表を盛り上げ、今年も野球部も加わって行ったコラボレーションパフォーマンスは圧巻でした。ふだんは見られない部活動で活躍する友人の姿に感動や驚きを覚えた人も多いと思います。文化祭中の各クラス、部活動もおもしろい企画や美味しい飲食店が多く、たくさんのお客さんを楽しませることができたと思います。今年も昨年のお客さんが来校しました。二日間で約四〇〇〇人と、本校の広さでは入りきらないくらいの方にお越しいただけました。生徒や先生方の協力のおかげで人数を感じさせないほどスムーズな文化祭となりました。代替わりした私たち生徒会役員が先輩達の創り上げたものを受け継ぎ、来年度の第七十四回文化祭も素晴らしいものにできるように頑張っていきたいと思えます。ありがとうございました。



2 学年 修学旅行

海外組
ニュージーランド

国内組
沖 縄



こんにちは二年生です！私たちは十一月二十五日から、修学旅行に行ってきました。私たち山村国際高校では、今年から、希望する方面に分かれての行程となり、海外組はニュージーランドへ向けて、国内組は沖縄へとそれぞれ飛行機で旅立ちました。方面は別々なのですが、私自身の体験と、友人たちの話を総合して、いくつかの共通点もあることに気づいたので、今回はそのことを中心にお

伝えしようと思います！

まず、今年には戦後八十年ということもあり、初日に平和学習を行いました。海外組はオークランド博物館に展示されている旧日本軍の零戦を見学し、国内組はひめゆりの塔や平和の礎を訪れて、戦争や、その犠牲となった方々に想いを寄せました。

次に、今回の旅行のメインとなる、現地のご家庭での宿泊（ファームステイや民泊）体験です。ファームステイでは、馬に触れたり、湖のほとりでフィッシュアンドチップスを食べながら夕日を眺めたり、広大な大地の中で、ゆっくりとした時間を満喫しました。一方の沖縄でも、フェリーで伊江島に渡って民泊をしたのですが、名物のサーターアンダーギーを作ったり、伊江島タッチューと呼ばれる岩山に登ってみたり（とってもハードでした）、

沖縄民謡を踊ったり、ご家庭の特性を活かした体験をさせていただきました。なかには本格的な着付体験をしてくれたりご家庭もあり、大盛り上がりだったようです。いずれも、別れ際には涙を流す子もいて、ただ観光地を巡るだけではない、人との結びつきの大切さを改めて学べた貴重な経験でした。各ご家庭の皆様には大変お世話になりました。皆でホテルに宿泊したの

も良い思い出です。ロトル

アのホテルでは、マオリの方々の伝統芸能を体験しました。男性であればハカを舞い、女性はポイを回して盛り上がりました。飛び入り参加した先生方が一番楽しそうだったのは、ここだけの秘密です。そういえば、

今回の旅行期間中に、誕生日を迎えた子が一人だけいて、サプライズでお祝いをしてあげました。渡された大きなケーキを両手に持って、とても嬉しそうにしてくれていました。沖縄も、どこも素敵でしたが、特に初日のホテルの夕食がとても美味しく、運動部の子たちが何度も何度もおかわりをしていました。微笑ましい光景でした。私も普段は少食なのですが、おかわりしました。

最終日は、海外ならオークランド市街、国内は国際通りでの班別行動でした。それぞれお土産を購入するなど楽しんだのですが、実はここでも共通点を発見しました！海外・国内ともに、有名ハンバーガーショップで昼食をとった同級生がいたようです。世界共通ですね。最後に、海です。オークランドの港から見た海も、沖縄の海も、とても美しく、その景色は今も脳裏に焼き付いています。沖縄では、バナ



ナポート・シユノーケリング体験で実際に海に入りました。とても開放的な気分でした。でも考えてみれば、どちらの海も、本来は繋がっているのですよね。今回、二方面に分かれての修学旅行でしたが、海を介して、それぞれ、本当に素晴らしい経験をさせていただきました。



01

東京デイズニースキー

一学年は、十月二十二日水曜日、東京デイズニースキーにおいて、校外学習と称して一日羽を伸ばす機会をいただきました。前日の天気予報は雨。しかも気温十五度となっていていました。実際、当日の天気はほぼ雨、最高気温も十二〜十三度くらいであったように思います。生徒を待っている間に私がずっと感じていたことは「寒い」「冷たい」(雨がかなり降っていました)という以外はありませんでした。少し嫌な予感を感じていたものの、ある意味、最悪のコンディションの中、この校外学習は開催されました。

集合時間九時三〇分のところ、生徒たちは一時間前からポチポチ集まり始めて、その気持ちの入りようを見ていたら、それと反比例するように私の気持ちは萎縮していたように思います。この場所の持つ大きな力のようなものを感じつつも、大いなる気後れを感じていることも否めませんでした。そんな私の気持ちも知らず(当たり前ですよね)彼ららとても元気でした。

私は本部を設置し、何をすることもなく戻ってこられる先生たちと何気ない会話を楽しんでいました。普段



職場(学校ですよね)ではすることも無い何気ない話ではあったのですが。また、通りを歩いていく生徒たちの姿を見て、楽しそうにはしゃいでいる彼らを見ていて、一日羽を伸ばす機会をいただけたことをうれしく思いました。

学年を解散し、帰路につく頃には、今日一日(非常に寒かったのを含めて)がまるで夢の中のワンシーンのように思えてきたのを記憶しています。この場所はやはり私にとって、遠い遠い「夢の国」だったのかと納得した次第です。

01

イングリッシュスキルアップセミナー

十一月二十五日(火)〜十一月二十九日(土)の五日間にわたって、本校校舎を使用させていただき、一学年のイングリッシュスキルアップセミナーが実施されました。イングリッシュスキルアップセミナーとは、一限から六限までの授業時間をオールイングリッシュで行うというものです。一学年全体を十八の各グループに分け、それぞれネイティブの先生方についても、各プログラムに従って授業を進めてもらう、といった授業プログラムです。

通常日本で暮らす我々(母語を日本語として暮らしている我々)は、普段から英単語はよく耳にするものの、実際の会話となるとどうしても苦手意識が先に立ち、積極的に日本語以外で会話することは避けたいと思ってしまうがちです。理由は色々と考えられますが、日本語でさえ言いたいことをうまく言えないのに英語でなんて、といったこともあるかもしれません。

我が一学年の生徒達も尻込みする者は、やはり一定の数はいたように思います。初日は特に上手く馴染めない生徒もいたようです。担任の先生に嫌だ、嫌だと言っている生徒も



何人か見かけました。ところが、不思議なものでこれが二日目、三日目となってくると各講師の先生方しだいに馴染んでいき、それなりに楽しんで英語を使い懸命に会話している姿を見かけました。その様子を眺めながら正直ほっとしたのをよく覚えていきます。それと同時に、多感な時期に外国語に触れ、その言語で考えてみるということがとても重要なことなのだ、と私も深く感じた次第です。いずれにせよ、これから先の彼らにとって、貴重な五日間であったと思われれます。

02 東京デイズニーランド

こんにちは二年生です！中間テストが終わってまもない十月二十二日、私たちは恒例のデイズニーへの校外学習に出かけてきました。昨年度のシーに続いて、今回はデイズニーランドに訪問です。ですが当日は、まさかの雨！先生方も、校外学習でこれ程の雨は初めてだと仰っていました。正直寒かったです。とはいえ、おかげでビッグサンダー・マウンテンには何と待ち時間五分、スプラッシュ・マウンテンですら三分で乗れたのは、不幸中の幸いでしょうか。ただスプラッシュは、雨のおかげでいつも以上に濡れてしまいました。あいにくの雨模様ではありませんが、それでも、ハロウィ



ンシーズンのデイズニーの雰囲気は、しつかり満喫させてもらいました！ワールドバザールの中心には、ミッキーをかたどった大きなカボチャの装飾があつて（もちろん写真を撮りました）、お昼は「チキンとエビのアソートプレート」を食べて、お決まりのポップコーンはストロベリーミルクフィードにチャレンジして、チュロスもアップルキャラメル味がとても美味しくて・・・あれ、すみませになってますね。ほかにも、親戚の小さな子にステイッチのぬいぐるみをお土産に買ってあげていた優しい男子もいましたよ。ところで、当日は、前回同様に現地集合でしたが、先生方の話では、スムーズに集まれて良かったそうです。来年は絶対に晴れていますように！今から祈ります！楽しかったです！ありがとうございます！



03 芸術鑑賞会

十一月二十七日、三学年は劇団四季ミュージカル『アナと雪の女王』の鑑賞を行いました。今回は鑑賞に先立ち、劇団四季からお借りしたDVDを活用し、物語の見どころだけでなく、舞台技術や衣装・美術についても学ぶ事前学習を実施しました。また、演劇鑑賞のマナーについても学び観劇に臨みました。「早く本物を見たい」と、鑑賞前から期待を膨らませていた生徒もいたようです。開演すると、舞台下のオーケストラピットから響く大迫力の生演奏が会場を包み込み、指揮者が楽団と舞台上を同時に見ながら指揮を振る様子が客席からも見え、その臨場感に驚く生徒も多かったです。子役のアナとエルサが登場した際には、その可愛らしさに思わず声を漏らす生徒もおり、作品の世界に一気に引き込まれていく様子が見られました。また、終演後自然とスタンディングオベーションが起こり、生徒たちも立ち上がって盛大な拍手を送りました。「あの仕掛けはどうなっているのだろう」「映画と歌詞が違って新鮮だった」「オラフがかわいかった」「他の作品も観てみたい」「感動した！」など、さまざまな感想が寄せられました。終演後、生徒

たちが舞台芸術の魅力や感動を友達同士で共有する姿が印象的でした。今回の鑑賞を通して、芸術表現に対する理解を深めるだけでなく、新たな興味を広げるきっかけにもなったことと思います。



Hello, I'm Eeti. I'm an exchange student from Finland, and I'll be staying at your school for about ten months, though I have already been here for almost four of those months. So, I still have a bit over six months in Japan. Some famous things from Finland that you might know are sauna, Moomins, and Angry Birds. Finland is also famous for its nature, since it's really snowy and has a bunch of beautiful lakes.

I'm from Helsinki, the capital of Finland and its biggest city, which has about one and a half million people living there. Finland is also really cold; even in Helsinki, which is in the very south of the country, it can still go as low as minus 20 Celsius in the winter, so I'm happy that Japan is a lot warmer. The main reason as to why I came to Japan is wanting to experience something totally new and different from Finland, and I also wanted to learn a new language. So far, it's been a really fun 4 months. Maybe I'll see you around!



こんにちは、エーティです。フィンランドから来た交換留学生で、これから10カ月ほどこの学校に通います。もう4カ月ほど日本にいますので、あと6カ月ちょっと日本にいる予定です。フィンランドの有名なものといえば、サウナ、ムーミン、そしてアングリーバードなどがあります。フィンランドは自然も有名で、雪が多く、美しい湖がたくさんあります。

私はフィンランドの首都で一番大きい都市であるヘルシンキ出身です。ヘルシンキには約150万人が住んでいます。フィンランドはとても寒くて、国の南にあるヘルシンキでも冬になるとマイナス20度まで下がることがあります。なので、日本がもっと暖かくてうれしいです。



事務室 だより

事務長 師岡 昇

皆様には、日ごろより本校の教育活動に対し、格別のご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

学校を取り巻く環境変化が著しく、学校現場には様々な風が吹き込んでいます。今や学校の変革期であり、今後どのように対応していくのが問われる時代となっています。そのために皆様と知恵を出し合い、工夫・努力することが重要だと思います。知恵を集結し、問題解決に向けて協議を進めることができれば、より良い解決策を導き出し、学校運営が出来ると思います。

本校の学校現場においてはICT化整備等積極的に取り組み、AI化されていく環境に遅れないよう努める必要があると思われれます。それには色々な情報やコミュニケーションを活発に行う必要があると思います。

現在事務室では、皆様に今まで提出頂きました「国の就学支援金」「県の父母負担軽減事業補助金」「奨学のための給付金」について、国及び県に提出し、審査結果を待つている状態です。

保護者の皆様は、この三点の補助金申請について、「きちんと提出したかを確認したい」「出し忘れてしまい、今から提出したい」もしくは「家計の急変があった」等ご連絡をいただければ早急に対応いたしますので、事務室までご連絡ください。また、授業料無償化についての情報が国や県からも無いことから、現状では令和八年度も本年度同様、口座引落しの方法で納めていただくこととなります。授業料無償化についての詳細が分かり次第、保護者の皆様にご案内いたします。

本校での就学支援金及び父母負担軽減事業、奨学のための給付金申請は生徒が学校で安心して勉学・部活動に励めるよう、この事業に、私学の中でも熱心に取り組んでいる学校です。

遠慮せず相談を積極的にお願いたします。

▼防災特集

防災体験



十二月十六日に防災体験を行いました。一・三年生は消火器体験、二年生は煙体験を行いました。

十二月は空気が乾燥し、火災が起りやすい季節です。万が一の際に消火器を正しく使えるよう、指導を受けました。火災を発見したら大きな声で周囲に知らせ、「1ピン、2ホース、3レバー」の手順で消火器を使い、火元に向けて消火活動を行います。

また、煙が充満した通路から避難する体験を通して、火災時の避難方法を学びました。煙で視界がほとんど見えない状況の中、体を低くし、壁に手を触れながら移動することで、煙の恐ろしさを実感しました。



今回の体験を教訓に、日頃から防災意識を高め、火災発生時には落ち着いて適切な行動がとれるようにしていきたいと思えます。

活躍している部活動

軽音楽部

2年生バンド「Rollly Polly」第13回埼玉県高等学校軽音楽部新人大会予選川越南会場優秀賞受賞決勝大会へ進出!



よさこい部

10月12日 坂戸よさこいよさこい陣屋まつりに参加しました!引き続き応援よろしくお願いたします。



生物部

生物部はシアノバクテリア(ブルーの藻類)をフアージで退治する方法やマウスをモデルにした記憶力向上の研究をしている。これらの研究は、大学や学会主催の大会でポスターやオーラル(口頭)により発表をしている。今年14件の大会に参加し、また投稿した論文も作品集に掲載予定である。主な入賞は、高校生バイオサミット(慶應大)で審査員特別賞。科学・探究発表会(日葉大)で優良賞・副賞。微生物生態学会で優秀賞。さらにサイキワールド大会(リバネス)では、海外の高校生を相手に奨励賞を受賞した。



詳細は本校ホームページの生物部をご覧ください。

男子バスケットボール部

令和7年度県民総合スポーツ大会兼高等学校バスケットボール新人大会西部支部予選結果報告

- 山村国際(51)・富士見(24)
- 山村国際(84)・西武文理(61)
- 山村国際(67)・慶應義塾志木(62)
- 決勝リーグ
- 山村国際(85)・埼玉平成(70)
- 山村国際(87)・坂戸(43)
- 山村国際(76)・武蔵越生(69)

結果として埼玉県西部地区予選を1位通過し、県大会4シードの権利を獲得できました。これもひとえに保護者をはじめとする支えて下さった多くの皆様のおかげです。ありがとうございました。県大会でも結果を残すべく奮闘する所存です。今後とも応援よろしくお願いたします。



放送部

(全国大会) 第72回NHK杯全国高校放送コンテスト・ラジオドキュメント部門に出場しました。作品「この名は...」では、生徒玄関の歴史や名前の由来を取材し、その場所に込められた思いを7分間のドキュメントにまとめました。

(県大会) 第45回高校放送コンクール・朗読部門に、1年の関優羽が出場しました。朗読作品は、会社の採用面接において何を評価軸とするのかを描いた「黄金比の縁」です。